

# どつちがお母さん

メダカのお母さんがたまごをうんだよ。

水そうの中をよく見ると、ありんごぐらいの赤ちゃんがおよいでいたよ。

でも、メダカのお母さんは、ときどき赤ちゃんをたべちゃうんだって。

だから、わたしは赤ちゃんを小さな水そうにうつしてあげたよ。

えさをあげたり、水をきれいにしたり、たくさんおせわをしたよ。

そしたら、赤ちゃんメダカが少し大きくなつたよ。

もうだいじょうぶ、お母さんがいる大きな水そうにもどしてあげた。

わたしがおせわをした赤ちゃん、こんどはお母さんメダカのばんだよ。

赤ちゃんメダカは、キラキラひかる水の中をすいすいおよいでいるよ。

おにごっこをしたり、かくれんぼをしたり、たのしそうだよ。

やつぱり、赤ちゃんメダカはお母さんといつしょでうれしそう。

赤ちゃんメダカ、お母さんメダカとわたし、どつちをお母さんと思っているのかな。